

荒川知水資料館 学習支援プログラム オンライン学習活用ガイド



荒川知水資料館



目次

1.	はじめに	1
2.	オンライン学習とは	2
3.	本書の見方	3
4.	実践事例	
a.	板橋区立高島第六小学校4年生	4・5
b.	北区立谷端小学校4年生（1回目）	6・7
c.	北区立谷端小学校4年生（2回目）	8・9
d.	江東区立第二辰巳小学校4年生（1回目）	10・11
e.	江東区立第二辰巳小学校4年生（2回目）	12・13
f.	江戸川区立南小岩小学校4年生	14・15
5.	その他の学習支援プログラム	16・17
6.	学習支援利用のながれ	18
7.	参考情報	19

はじめに

荒川知水資料館（アモア）は、荒川の水害の歴史や治水事業、自然環境に関する展示を行っています。また多くの人に荒川をはじめ、川や水について広く知っていただけるよう、事業や流域の各情報の受発信、防災・環境教育の支援などの取り組みを行っています。その一環として小学校等を対象とした学習支援を行っており、アモア周辺での現地対応だけでなく、Zoom等のweb会議システムを活用したオンライン学習もはじめました。

本書は、アモアのオンライン学習を学校教育に取り入れていただくためのガイドブックです。近年需要が高まっている水防災を題材に荒川下流域の4校の小学校に協力していただき、アモアが提供したオンライン学習の情報をまとめています。あわせて、オンライン学習を活用した様子や授業計画をアモアのホームページで公開しています。

オンライン学習とは

アモアのオンライン学習はWeb会議システムを活用して、アモアと学校をつなぐ学習プログラムです。

提供内容や利用時間は、学校の要望に合わせて柔軟に対応いたします。

主な提供内容

- ・荒川の治水の歴史(明治43年の大水害、荒川放水路工事、青山士について)
- ・水防災(国交省の治水の取り組み、荒川の水害のリスク、マイタイムラインについて)
- ・荒川ロックゲートの役割
- ・荒川の自然

時間

- ・最短10分から利用可能

主な対象

- ・小学校

※上記以外は応相談

利用ソフト

- ・Zoom
- ・Microsoft Teams
- ・Google Meet

注意事項

- ・必要機器の貸出は行っていません
- ・実施希望日の一か月前までにお申込みください
- ・接続と授業内容の確認として、リハーサルを事前に行います
- ・接続の不備によって、授業が中断される場合があります
そのような場合に備えて、事前に資料をお送りします

・ 単元内の学習過程に沿った活用例

つかむ

- ・導入として、荒川の過去の水害を学ぶ

調べる

- ・荒川放水路の歴史を学習する
- ・青山士の功績を学習する
- ・国交省の治水の取り組みを学習する
- ・現在の荒川の水害リスクを学ぶ
- ・調べ学習として、アモアスタッフにインタビューする

まとめる

- ・水防災学習のまとめ方として、マイタイムラインの作成方法やハザードマップの見方を学ぶ

いかす

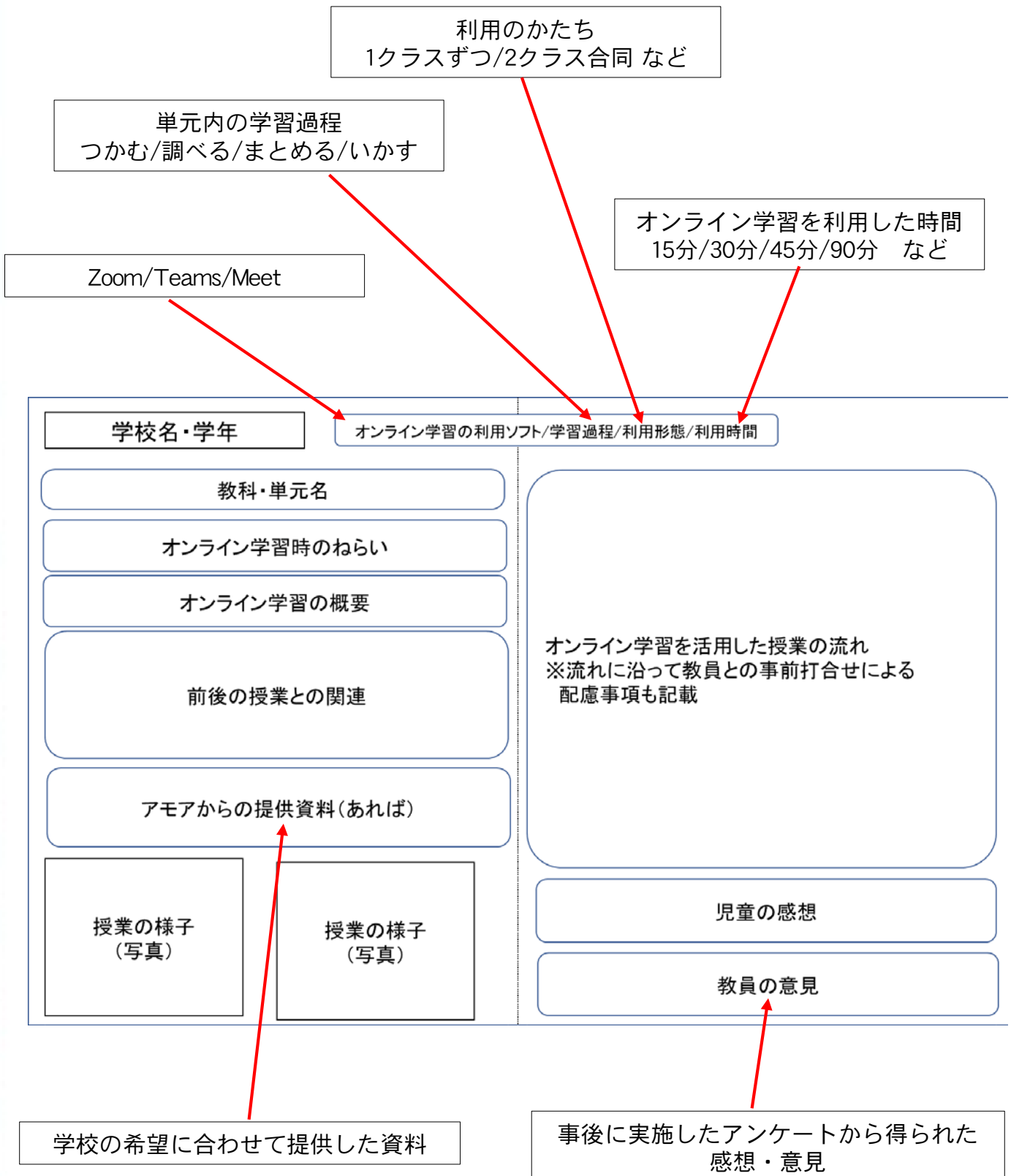
- ・学習した成果をオンラインを通して、アモアスタッフに発表する

その他

- ・社会科見学の事前学習
- ・社会科見学が中止になった場合の代替のプログラムとして実施

本書の見方

次ページから実際にアモアオンライン学習を活用した事例をまとめています。事例ページでは単元のどの段階で活用されたか等の単元と利用したオンライン学習との関連や提供したオンライン学習の内容などを紹介しています。



[社会科]

水害からくらしを守る (2時間目/全12時間)

オンライン学習時のねらい

荒川を事例に過去に起きた水害に対する対処を調べる

オンライン学習の概要

明治43年に起きた荒川の大洪水について、当時の様子を紹介する。

前後の授業との関連

オンライン学習までに、児童は東京都の自然災害について調べ、理解を深めている。
 オンライン学習時には、児童には、明治43年当時、災害時にはいろいろな人が助け合って救助・支援にあたっていたことに情報提供し、さらに自助・共助について調べてみたいと思う意欲を喚起する。

オンライン学習後は現在の治水の取り組みを学習し、自分たちには何ができるのかを調べ、考える。

【1組・提供資料】

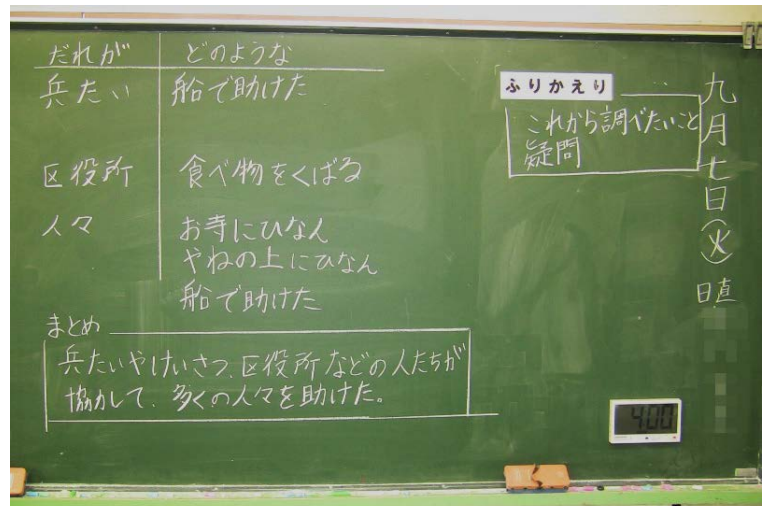
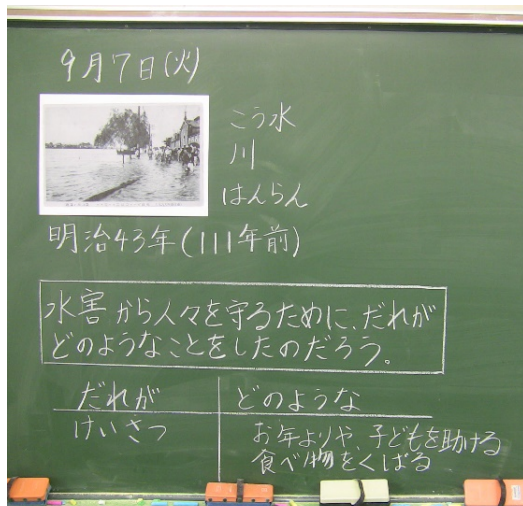


屋上生活(明治43年8月亀戸付近の惨状)





避難船(明治43年8月太平町の惨状)

【2組・板書】



【オンライン学習の流れ】

時間	内容	配慮事項
00:00 (20)	<p>■教員による授業の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治43年の写真を見て、何の写真かを予想 ・水害にまつわる写真であると予想 <p>→この時代は「もし水害が起きたら、誰がどのように助けていたのか」をさらにイメージを膨らませます。(1組)</p> <p>→もし水害が起きたらどうするかを話し合う(2組)</p>  <p><small>(横濱の川口開港場、明治43年、二組、一組、大洪水、(板橋区西町5丁目)</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1組と2組で授業内の流れに若干の違いがある ・パワーポイント資料内で使用した明治43年の大洪水の写真データを提供(1組) ・児童には見えない形で、接続をしておき、授業の導入を聞いておく
00:20 (10)	<p>■明治43年の大洪水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災の様子や被災者の暮らしについて ・当時の消防や警察のはたらきについて  <p><small>板橋区上野町、明治43年大洪水、(板橋区上野町)</small></p>	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の予想が合っていたのかを答え合わせをしながら、写真を解説 ・様々な機関が連携して対処していたことを伝える <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が親しみやすさを持つように、当時の地図で学校の位置を示したり、板橋区の情報などを入れ込む
00:30 (5)	■質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> ・1組は10分間の質疑応答後、簡単に教員による授業のまとめをして終了
00:35 (10)	<p>■教員による授業のまとめ(2組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて、水害を防ぐために誰がどのようなことをしていたかをまとめる ・解説を聞いて、「疑問に思ったこと」や「調べたいと思ったこと」を発表する 	

[社会科]

水害からくらしを守る（1時間目/全12時間）

オンライン学習時のねらい

都内における過去の自然災害について調べ、様々な水害が起きていることを知る

オンライン学習の概要

都内で起きた水害の1つとして、荒川でおきた明治43年の大洪水について紹介する。

前後の授業との関連

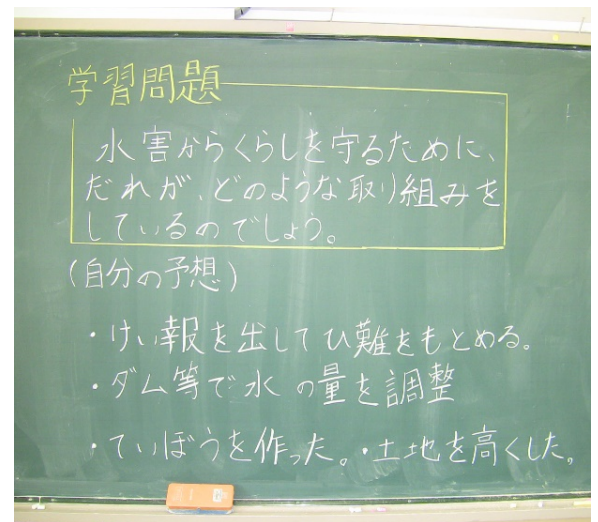
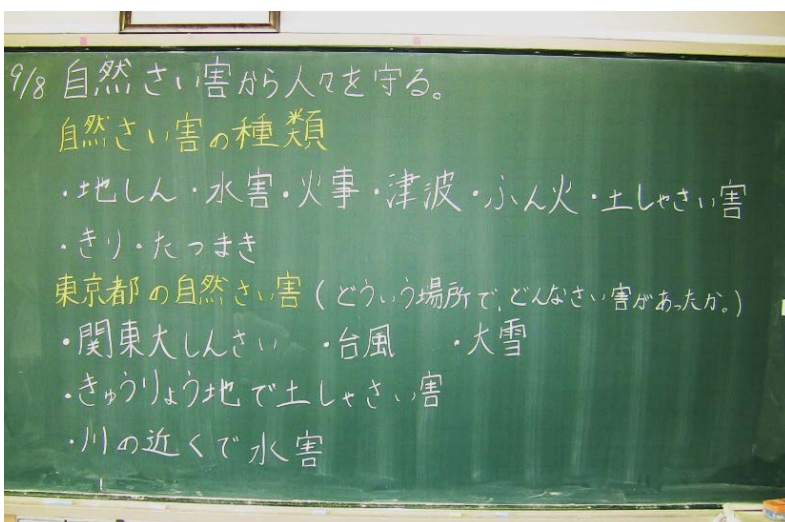
オンライン学習では、北区を流れる荒川を例に、過去の水害（明治43年の大洪水）について情報提供し、関心を喚起すると共に水害を自分事に捉えられようように促す。児童は、過去には荒川で頻繁に水害が起きていたが、自分たちは水害の経験がないという事実から、水害からくらしを守るために様々な対策が行われていることに気付く。

オンライン学習後は、水害を防ぐための都や区の取り組みについて調べ学習を進める。

【授業の様子】



【板書】



【オンライン学習の流れ】

時間	内容	配慮事項
00:00 (25)	<p>■教員による授業の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害の種類を挙げる ・ 副読本を使い、東京都の自然災害についてどんなものがあるかノートにまとめる ・ 北区に流れる川を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副読本「わたしたちの東京都」使用
00:20 (10)	<p>■荒川の水害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒川の名前の由来から昔は頻繁に氾濫を起こしていた暴れ川であったことを解説 ・ 明治43年の大洪水の様子を紹介 <div data-bbox="233 779 754 1070" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="240 1099 746 1420" data-label="Image"> </div>	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが身近に感じられるよう、荒川と学校の位置関係を示す ・ 明治43年の大洪水では現在の北区は半分浸水していたことを示す
00:30 (10)	<p>■教員による授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解説を聞き、今は水害に遭っていないことから、「水害からくらしを守るために誰がどんなことをしているか」予想を立てる 	

児童の感想

- ・ 1910年の大水害で家が水に沈んでしまって、昔の人は屋根に避難をしていたことが分かりました。
- ・ 荒川で4年に一度は起きていた水害を誰がどのようにして、無くしたのかとても気になりました。

教員の意見

- ・ 教科書には載っていない写真や知識を教えていただいたのでよかったです。
- ・ 昔の人が家に船を有していたり、屋根の上に避難している様子が心に残ったようです。

[社会科]

水害からくらしを守る（7時間目／全12時間）

オンライン学習時のねらい

水害を防ぐための国の取り組みを調べる

オンライン学習の概要

国の治水の取り組みと荒川の水害のリスクについて紹介する。

前後の授業との関連

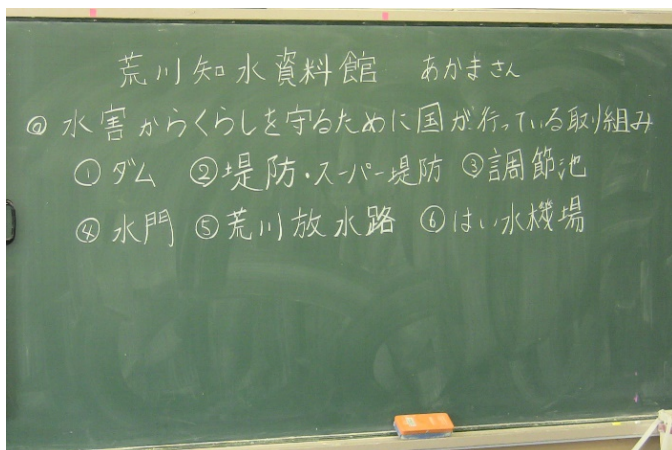
オンライン学習までに、児童は東京都や北区の取り組みについて理解を深めている。オンライン学習時には、水害を防ぐために、国は東京都や北区と連携し取り組んでいることを具体的に情報提供し、調べ学習を支援する。また、その後の授業で「水害に遭わないため自分には何ができるか」を考えるために、荒川の水害リスクについても触れる。

オンライン授業後、児童は関係機関の取り組みについてまとめ、水害から身を守るために自分ができることを考え話し合う。

【授業の様子】



【板書】



【オンライン学習の流れ】

時間	内容	配慮事項
00:00 (25)	<p>■国の治水の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの取り組みの紹介 (ダム、堤防、貯水池、排水機場、放水路、水門) ・水害を防ぐための国と都、区連携 ・現在の荒川の水害のリスク   	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が連携して対策を行っていることを荒川を例に紹介 ・次の授業につなげるため、各機関が対策をしても気候変動の影響により荒川の水害のリスクは高まっていることを解説 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「排水機場」等、児童が聞きなれない単語は理解できる単語にするか、簡単に解説をする
00:25 (10)	■質疑応答	
00:35 (10)	■教員による授業のふりかえり	

児童の感想

- ・荒川の水害や水害を減らすための工夫について勉強になりました。
- ・都や区、国などでも備えがたくさんあってすごいと思いました。
- ・水門が閉まっているところを見てみたいと思いました。

教員の意見

- ・分かりやすい資料でしたが、もっとクイズをより取り入れると児童の集中が保たれると思います。

[社会科・総合的な学習の時間]

- ・水害からくらしを守る
- ・青山士と荒川放水路（8・9時間目/全25時間）

オンライン学習時のねらい

青山士の業績、荒川放水路の仕組みや役割、経路について話を聞き、青山士の功績や完成するまでの工夫や苦勞をまとめる。

オンライン学習の概要

荒川における水害の今昔と題して、青山士の功績や人物像、荒川放水路建設開始の経緯や工事の苦勞などを解説する。

前後の授業との関連

オンライン学習前までに、児童は水害の被害や原因、江東区における過去の水害について学習している。その上で、荒川では誰がどのような方法で水害を減らしたのか、疑問を持っている。

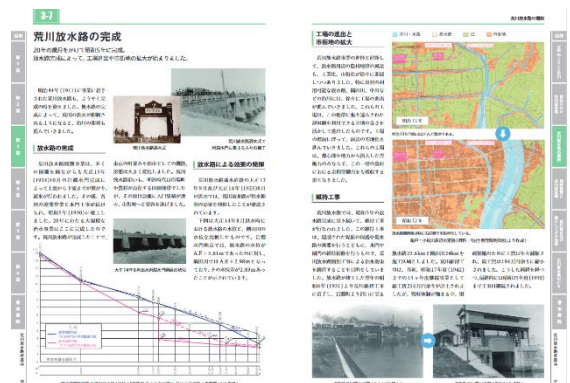
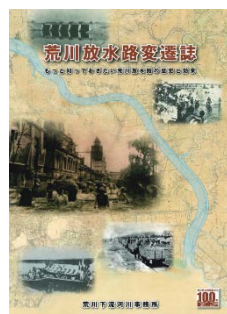
オンライン学習時には、青山士氏の功績や人物像、荒川放水路、岩淵水門など、過去から現在に至る治水の取り組みについて情報提供を行い、児童の疑問に答える。

オンライン学習後、児童はオンライン学習で分かったことと、さらに、調べたいことを話し合い、調べ学習を発展させていく予定。

【授業の様子】



【提供資料】 荒川放水路変遷誌



【オンライン学習の流れ】

時間	内容	配慮事項
00:00 (5)	■あいさつ ・アモアの紹介 ・オンライン学習時の注意点	
00:05 (20)	■青山士について ・青山士の人物像 ・パナマ運河の建設について  <div data-bbox="459 633 691 898"> <p><small>あおやま あきら</small> 青山士 氏 はどんな人？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パナマ運河工事に参加 (日本人ただ1人) ・荒川放水路工事に参加 ・「自分が死ぬときには、 生まれたときよりも世の中を 良くしていこう」という思いで 土木技師をめざす </div>	<内容> ・青山士の功績を含め荒川放水路建設以降については、今後の授業のために今回のオンライン学習では扱わない <その他> ・アニメーション機能やクイズを資料に入れ込み、児童を飽きさせないように工夫 ・4クラス合同での授業のため、学校側はミュートにする
00:25 (15)	■荒川放水路建設のきっかけ ・荒川が氾濫しやすい理由 (荒川の高低差、流域の広さ、川の形)	
00:40 (5)	休憩	
00:45 (30)	■青山士の功績 ・荒川放水路工事について (用地買収、工事の工程) ・旧岩淵水門について ・水門の役割 (動画)  <p><small>あらかわほうすいりう</small> 荒川放水路の工事① <small>かせんじき</small> 河川敷をたいらにほる</p>	
00:75 (15)	■質疑応答・まとめ	・時間が余ったらアンケートの記入

児童の感想

- ・青山士は人々が安心できるように安全な川を作ったと分かりました。
- ・川を作る期間が20年近くかかるということを知って、20年間川を作った人達はすごいと思いました。

教員の意見

- ・シンプルで分かりやすいスライドでとても良かったです。
- ・クイズなど児童の反応を見ながら授業していたと思います。

[社会科・総合的な学習の時間]

- ・水害からくらしを守る
- ・青山士と荒川放水路（12・13時間目/全25時間）

オンライン学習時のねらい

前回までの授業で整理した疑問を解消すると共に、荒川放水路完成後の荒川、そして江東区の水害リスクについて学ぶ。

オンライン学習の概要

荒川放水路完成後の影響や江東区の水害の特徴について解説し、荒川の水害の危険性について理解を促す。

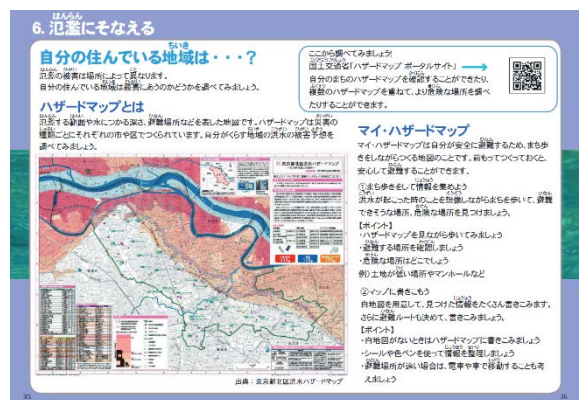
前後の授業との関連

オンライン学習前までに、児童は1回目のオンライン学習で得た情報や疑問を整理している。このオンライン学習では、荒川放水路完成の効果と弊害、放水路完成後の現在も水害のリスクがあることについて情報提供し、水害について調べ学習を支援した。オンライン学習後、児童は荒川以外の河川や都、区の水害の取り組みを学習。最終的には自分たちには何が出来るか東京マイタイムラインにまとめ、ふりかえりとして作成したマイタイムラインや学習内容の発表を行う予定。

【授業の様子】



【提供資料】 荒川わくわくブック



【オンライン学習の流れ】

時間	内容	配慮事項
00:00 (20)	■あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のオンライン学習のふりかえり ・ 前回のオンライン学習をふまえた質疑応答 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前の学習での質問時間を冒頭に設け、児童の気づきを共有する
00:20 (20)	■荒川の全体像 <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒川放水路完成後の良い影響と悪い影響 ・ 荒川の水害リスクの増大 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>地球温暖化によって 荒川で水害が起きるきけんは ふえています</p> <p>理由① ゆっくりと動く、大きな台風がふえる</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>雨がふる時間も長くなり、 ひがいが大きくなる</p>  </div>	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒川放水路の効果を伝えると共に、放水路ができたことによる弊害や気候変動による現在の水害リスクの増大も紹介 ・ 国と都の取り組みは重複する部分があるが、都の取り組みは今後の授業で扱うため、内容には加えない <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が水害を具体的にイメージできるよう「浸水シミュレーション映像」や「荒川3D洪水浸水想定区域図」を活用
00:40 (5)	休憩	
00:45 (30)	■荒川の水害に備える <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒川の水害を想像する ・ 江東区の水害の特徴 ・ 水害発生後の生活を想像する ・ 水害への備え（東京マイタイムライン） <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>荒川で水害が起きたら・・・</p>  </div>	
00:75 (15)	■質疑応答・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間が余ったらアンケートの記入

児童の感想

- ・ 荒川放水路があっても、荒川で水害が起きたら被害が大きいことを知りました。
- ・ 洪水が起きると電気や水、トイレも使えなくなってしまうことが分かりました。

教員の意見

- ・ 事前の打ち合わせで、伝えていた内容を分かりやすく解説していたのでよかったです。
- ・ 子供たちが反応する場面（挙手）などがあったので、よく聞いていたかと思います。

[社会科]

水害からくらしを守る（5時間目/全9時間）

オンライン学習時のねらい

水害を防ぐための国や東京都の取り組みを調べる

オンライン学習の概要

荒川において、水害を防ぐための国の取り組みや水門などの主な施設の役割について、理解を促す。また、昨今、国が推し進める「流域治水」についても学習する。

前後の授業との関連

オンライン学習前までに、児童は水害の被害や江戸川区の治水の取り組みについて理解を深めている。

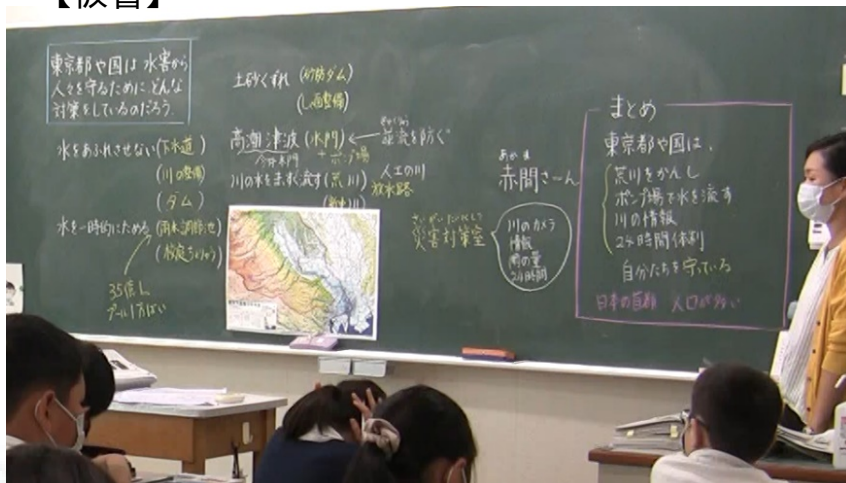
オンライン学習時には、国の治水の取り組みと共に、近年の国が推し進める最新の治水の考え方「流域治水」について情報提供を行い、治水や防災の取り組みについての調べ学習を支援する。また、後日、7E7に社会科見学で来館する予習を兼ねた。

オンライン学習後は、水害に備えるための地域の取り組み、都・区・地域の連携、水防災における自助・共助のあり方について学習する予定。

【授業の様子】



【板書】



【提供資料】 荒川流域立体地図



【オンライン学習の流れ】

時間	内容	配慮事項
00:00 (10)	<p>■ 教員による前回の授業のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の授業で学んだ都の取り組みをふりかえり 	
00:10 (5)	<p>■ 荒川の全体像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒川が洪水が起きやすい理由を解説 ・ 流域治水について紹介 	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害を身近に感じるために、学校近くにある川や水門などの治水施設を紹介 ・ 国が推し進める「流域治水」について紹介 ・ 地球温暖化の影響により、水害は起こり得るということを解説 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解説の際にはプレゼンテーションの「ペン」機能を使用 ・ クイズ等を取り入れ、対話的な授業を実施
00:15 (10)	<p>■ 国の治水の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6つの取り組みの紹介 (ダム、堤防、貯水池、排水機場、放水路、水門) 	
00:25 (10)	<p>■ 質疑応答</p>	
00:35 (10)	<p>■ 教員による授業のまとめ</p>	

児童の感想

- ・ 水門の管理者が区や都と協力していたなんて知らなかった。
- ・ 荒川はとても危ない暴れ川で昔はもっとくねくねしていて人工的にまっすぐにしていたことをはじめて知りました。

教員の意見

- ・ 子どもの身近にある水門やポンプ場などの写真を使った資料だったので、分かりやすかった。
- ・ オンライン授業を受けていたおかげで、社会科見学もより効果的になった。

その他の学習支援

アモアではオンライン学習のほかに現地学習・見学として、「荒川の歴史」「水防災」「荒川の自然」について、子ども達の主体的・対話的な深い学びを支援します。また、東京のまちを守るために重要な役割を果たしている岩淵水門や、荒川放水路建設当時につくられた旧岩淵水門を実際に見学することができます。

荒川の河川敷には豊かな自然があり、魚・カニ、植物、昆虫、野鳥などの観察や、カニ、昆虫の採集を体験することができます。

オンライン学習と現地学習・見学は組み合わせて利用することが可能です。

※生活科や総合的な学習の時間で使用する「北区・子どもの水辺」はアモアから徒歩20分程です

※「魚・カニ」のプログラムは荒川の潮位によって実施できない日があります
ホームページ (<https://onl.la/cHrpTgN>) に掲載の実施可能日(潮位表)も必ずご確認ください

※季節によって実施が難しいプログラムがあります

※SDGsに関連した学習活動にも対応いたします



確認はこちらから

社会科見学

主な対象 小学校3～6年生 **所要時間** 1時間30分～ 所要時間については柔軟に対応が可能です

定員 約140名 2クラス以上の学校や人数が多い場合は、クラスやグループ単位に分かれての見学です

荒川知水資料館、岩淵水門、旧岩淵水門 など

荒川知水資料館の館内見学や、岩淵水門と旧岩淵水門の見学を通じて、地域に尽くした先人の働きや水防災など、下記のテーマで説明します

「荒川の歴史」

荒川の歴史は洪水からまちを守るための歴史

→荒川の歴史、洪水、先人たちの治水への取り組みを資料館の展示物を用いて解説します

「荒川と青山士」

→青山士の業績、荒川放水路と水門への関わりを中心に、荒川について解説します

「荒川と水門・防災」

わたしたちのまちを洪水から守る荒川と岩淵水門

→「なぜ荒川放水路と水門で洪水からまちを守ることができるのか」を荒川や水門の見学、模型実験を通じて解説します



自由見学の設定も可能です

荒川ロックゲート(江戸川区小松川付近)

水面の高さが違う2つの川の間を船が航行するための施設「荒川ロックゲート」を実際に船が通過する様子を見学し、ゼロメートル地帯の災害リスクや河川施設の役割について解説します

※状況により通船見学ができない場合があります



荒川ロックゲートの見学



通船の様子

総合的な学習・社会・理科

- 主な対象** 小学校3～6年生
- 所要時間** 1時間30分～ 所要時間については柔軟に対応が可能です
- 定員** 約140名
プログラムによって対応できる人数が異なりますのでご相談ください
- 活動場所** 荒川知水資料館、北区・子どもの水辺、荒川河川敷広場など
- 内容** 館内や野外またはオンラインでの学習活動を下記6項目の中から学習目的に合わせてお選びいただけます



水門の役割を学ぶ流水模型

歴史 (所要時間約20分～) ※適期：1年中

- 3学年社会「市の様子の移り変わり」
4学年社会「県内の伝統や文化、先人の働き」など

ねらい

地域に尽くした先人の働きを理解し、荒川における過去の水害及び明治から昭和にかけての荒川放水路開削工事について知り、人々の安全を守るために行われてきた工夫や努力について理解を促す。

内容

水門や堤防など屋外施設や館内の展示の見学を通じて、荒川の水害や治水の歴史、水面利用等について考える。

防災 (所要時間約20分～) ※適期：1年中

- 3学年社会「地域の安全を守る働き」
4学年社会「自然災害から人々を守る活動」
5学年社会「我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり」など

ねらい

地域の安全を守る活動や自然災害から人々を守る活動がどのように行われているのか、国土交通省の取り組みや、荒川の堤防が決壊し、洪水が起こった場合の自らの命の守り方、共に助け合う大切さについて理解を促す。

内容

浸水シミュレーションや流水模型を活用し、荒川の堤防が決壊した場合の浸水の状況や自らの行動のあり方について考える。
※災害対策室は40名まで利用可

昆虫 (所要時間約20分～) ※適期：夏～秋 その他はご相談下さい

- 3学年理科「身の回りの生物」
4学年理科「季節と生物」 6学年理科「生物と環境」

ねらい

季節ごとの昆虫に興味関心をもち、環境との関わりや、食う食われるなど自然の仕組みについて体験的に学習する。また、昆虫がすみやすい環境づくりについて理解を促す。

内容

河川敷で虫さがしを行い、採集した昆虫を観察すると共に、その昆虫の生態や昆虫が好む環境(生息条件)を通じて荒川の自然の現況や課題について考える。

植物 (所要時間約20分～) ※適期：春～秋 その他はご相談ください

- 3学年理科「身の回りの生物」
4学年理科「季節と生物」 6学年理科「生物と環境」

ねらい

野草や樹木の成長の様子と季節の変化に注目し、動物や環境との関わりなどから自然の仕組みについて体験的に学習する。身の回りで見られる外来植物の問題についても理解を促す。

内容

荒川河川敷や自然観察池などに見られる植物を、五感を活用し観察すると共に、観察した植物の生育の様子から荒川の現況や課題について考える。

野鳥 (所要時間約30分～) ※適期：秋～春 その他はご相談下さい

- 3学年理科「身の回りの生物」
4学年理科「季節と生物」 6学年理科「生物と環境」

ねらい

季節によって見られる種類や生活史の違いから野鳥と環境の関わりについて興味関心を育み、体験的に学習する。また、夏と冬には渡り鳥から世界とつながる荒川の自然の重要性について理解を促す。

内容

河川敷で野鳥を探し、目視または双眼鏡を用いて観察する。観察した野鳥を通じて、自然の大切さについて考える。
※双眼鏡(大24個、小20個)は貸出可

魚・カニ (所要時間約20分～) ※適期：春～夏 その他はご相談下さい

- 3学年理科「身の回りの生物」 4学年理科「季節と生物」
5学年理科「動物の誕生」 6学年理科「生物と環境」

ねらい

季節によって見られる種類や生活史の違いから、魚に対して興味関心を育み、環境との関わりについて体験的に学習する。また、魚やカニの生活史から海とのつながりについて理解を促す。

内容

北区・子どもの水辺で魚やカニを捕獲し観察する。観察した魚やカニを通じて、魚やカニから見た荒川の自然の現況と課題を考える。
※実施可能日(潮見表)をご確認ください

生活科学習 ※適期：夏～秋 その他はご相談ください

- 主な対象** 小学校1・2年生 **所要時間** 1時間30分～ 所要時間については柔軟に対応が可能です
- 定員** 約100名
- 活動場所** 北区・子どもの水辺、荒川河川敷広場 など
- 内容** 身近な自然の面白さや不思議さに気づけるよう、魚やクロベンケイガニなどの観察、植物の観察、昆虫採集などの自然体験をサポートします
事前調整時に内容をご相談ください
※必ず実施可能日(潮見表)をご確認ください



北区・子どもの水辺での活動

学習支援 利用の流れ

1. 学習形態、プログラム内容の選択

学習形態（現地学習・見学、オンライン学習）と、プログラム（社会科見学、総合的な学習・社会・理科、生活科学習）を選択してください。

2. 予約状況の確認

ホームページで希望日の予約状況をご確認ください。

※×印がある場合、お申し込みできません

※荒川知水資料館の**開館時間のみ対応しています**

※生活科学習、総合的な学習の「魚・カニ」プログラムをご希望の場合は**ホームページ掲載の実施可能日（潮見表）も必ずご確認ください**

予約状況などの確認はこちらから

<https://onl.la/cHrpTgN>



3. 申込み

ホームページからダウンロードした申込書でFAXまたはメールにてお申込みください。

4. 受付確認

お電話もしくはFAXにてお申込受付完了のご連絡をいたします。オンライン学習の場合はお電話にて授業内容のご希望について詳細を伺います。

5. 事前調整・リハーサル

実施の前に事前打合せを行い、実施内容について確認を行います。









オンライン学習の場合は接続と作成した資料の確認としてリハーサルを行います。

6. 実施

実施日はスタッフが事前に調整したプログラム内容に沿って、進行・解説を行います。

参考情報

アモアをはじめ、国土交通省では防災学習に役立つ情報を発信しています。

- アモア ホームページ
企画展の情報や学習支援の詳細を確認することができます。
<https://ara-amoa.com/> 
- 授業で使える水防災等の教材提供
アモアでは明治43年の大洪水の写真や荒川放水路工事など水防災学習に活用できる資料・教材の提供を行っています。
<https://onl.la/HuTnbSU> 
- 荒川下流河川事務所 河川利用お役立ち情報
学習支援時に配布している「荒川わくわくブック」や荒川ロックゲートパンフレットなどをご覧ください。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00040.html> 
- 荒川下流河川事務所 荒川の概要と歴史
荒川の歴史や知識に関するパンフレットをご覧ください。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00039.html> 
- フィクションドキュメンタリー 荒川氾濫
荒川の堤防が決壊した時にどうなるのかをフィクションドキュメンタリー動画で紹介しています。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00061.html> 
- 荒川3D洪水浸水想定区域図(下流域)～3D洪水ハザードマップ～
全国で初めて公表された立体のハザードマップを公開しています。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage01043.html> 
- 川の防災情報
全国のリアルタイム雨量・水位の情報を提供しています。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00079.html> 
- 防災教育ポータル
学校で授業を行う先生方をはじめ、皆様に防災教育に取り組んでいただく際に役立つ情報・コンテンツとして、国土交通省の最新の取組内容や授業で使用できる教材例・防災教育の事例などを紹介しています。
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html> 

お申込み・お問い合わせ

国土交通省 荒川下流河川事務所
ウェルビーイング企画室

TEL 03-3902-8745

FAX 03-3902-3670

問合せ受付時間 平日 10:00~17:00

HP <https://ara-amoa.com/>